

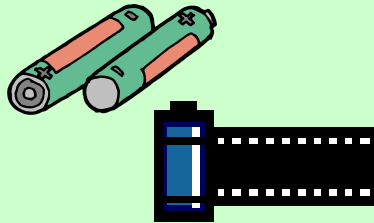
国際標準総合戦略（案）の概要

2006年12月

国際標準の例と意義

■国際標準の例

互換性確保



先端技術分野



多数の特許が関与

マネジメント分野



品質マネジメントシステム
環境マネジメントシステム

■国際標準の意義

1. 互換性・相互接続性の確保
2. 一定の品質・安全の保証
3. 低コスト化・調達の容易化
4. 技術の普及・市場の拡大

国際標準総合戦略の必要性

1. **世界市場の一体化**
2. **国際標準を国内標準の基礎とする義務 (WTO協定)**
3. **特許権を含む国際標準の増加**
第3世代携帯電話、DVD等
4. **対象分野の拡大**
品質・環境マネジメント、サービス等
5. **諸外国の戦略的な標準化活動**
米国・欧州に加え、韓国・中国も取組を強化

3つの視点

1. イノベーションを促進する

研究開発の成果を、国際標準により市場と社会に展開することによって、イノベーションを実現する。

2. 国際競争力を強化する

我が国の先進的技術を国際標準化し産業競争力を強化するとともに、国際貿易の促進を図る。

3. 世界のルール作りに貢献する

国際標準化により、社会に役立つ技術の普及と環境・安全・福祉の向上を促し、世界に貢献する。

5つの戦略

1.産業界の意識を改革し、国際標準化への取組を強化する

2.国全体として国際標準化活動を強化する
研究活動と国際標準化活動との一体的推進など

3.国際標準人材の育成を図る

4.アジア等の諸外国との連携を強化する

5.国際標準化のための公正なルール作りに貢献する